

へへふぶ

御利益
陸

大吉 ㊄

晴きより
晴き道にぞ
入りぬべき
はるかに照らせ
山の端の月
和泉式部
《拾遺和歌集》

お告げ

○このみくじにあたる人は、思いもよらぬ幸運に巡り合う者なり。まさに、暗き道より出て、気づけば月の光あり。
これより上演中に演者が振る「8D66」で1回だけ、サイコロの出目を㊄㊄に変えてよい。

へへふぶ

御利益
伍

吉 ㊀

色見えて
うつろふものは
世の中の
人の心の
花にぞありける
小野小町
《古今和歌集》

お告げ

○このみくじにあたる人は、悪運を幸運へと変える道を進む者なり。まさに禍福は糾える縄の如し。
これより上演中に演者が振る「8D66」で初めて㊀㊀が出たら、御利益を消費することなく、1回の振り直しをする。

へへふぶ

御利益
肆

中吉 ㊁

わが心
奥までわれが
しるべせよ
わが行く道は
われのみぞ知る
藤原
《拾玉集》

お告げ

○このみくじにあたる人は、神使の機嫌を良くすることをを行った者なり。神使が何に喜び、なぜ機嫌が良いのか、まさに神のみぞ知る。
神使の機嫌がすこぶる良くなる。これより上演中に神使は上機嫌となり、シラヌイに何かにつけて話しかけてくれる。